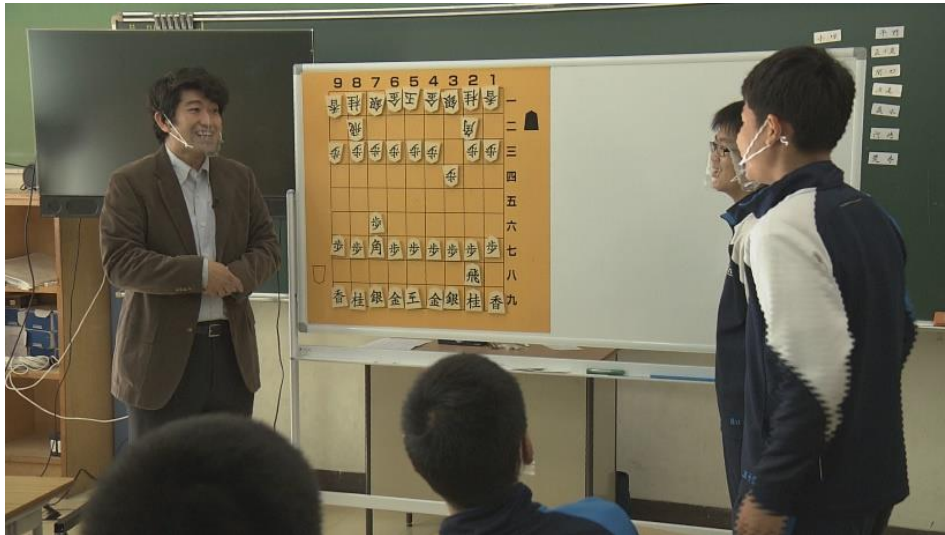


「奇跡のレッスン 将棋編 森内俊之」

2月15日（月）BS1 午後6:00～7:49（※途中ニュース中断あり）



さまざまな分野で活躍するトップレベルの“最強コーチ”が、子どもたちに1週間の特別レッスンを行う「奇跡のレッスン」。2014年から始まり、これまでサッカーやバスケット、野球から、ダンス、吹奏楽など、幅広い分野をとりあげてきた。

今回は、藤井聡太二冠の登場で、子どもたちの間でもブームになっている「将棋」をとりあげる。“最強コーチ”は、永世名人の森内俊之（50歳）さん。16歳でプロデビューした森内さんは、あの天才・羽生善治さんの同期で、ライバルとして知られている。初タイトルこそ30歳と早くはなかったが、徹底した戦略性と粘りの将棋を磨くことで名人位を8期獲得。永世名人の資格を手にしたのは、あの羽生さんよりも先だった。

去年11月末、そんな森内さんのレッスンを受けたのは、横浜市内にある公立中学校の将棋部の部員たち。コロナ禍でさまざまな大会が中止となりがっかりしている3年生も多かったが、今回の「奇跡のレッスン」は、そんな部員たちへのサプライズ・プレゼントとなった。

これまで登場したさまざまな“最強コーチ”の中で、最も謙虚な森内さん。自分の「失敗」も、部員たちに包み隠さず語る。「負けから学ぶ」「AIをサポーターにする」「将棋は1人でやるものではない」などなど。森内さんの指導で、次第に部員たちの目が輝き出す。

最終日には、市内の4つの中学校で合同練習会。果たして1週間という短期間で、部員たちは格上の中学生を相手にどんな対局を見せるのか…？